【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和4年7月12日(2022.7.12)

【公開番号】特開2022-51744(P2022-51744A)
【公開日】令和4年4月1日(2022.4.1)
【年通号数】公開公報(特許)2022-058
【出願番号】特願2022-1433(P2022-1433)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ 15/62(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 5/10(2006.01)
Ａ６１Ｋ 35/17(2015.01)
Ａ６１Ｋ 48/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 15/85(2006.01)
Ｃ１２Ｎ 5/0783(2010.01)
Ｃ０７Ｋ 19/00(2006.01)
Ｃ１２Ｐ 21/08(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ 15/62 ＺＺＮＡ
Ｃ１２Ｎ 5/10
Ａ６１Ｋ 35/17 Ｚ
Ａ６１Ｋ 48/00
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｅ
Ａ６１Ｐ 35/00
Ａ６１Ｐ 43/00 １０５
Ｃ１２Ｎ 15/85 Ｚ
Ｃ１２Ｎ 5/0783
Ｃ０７Ｋ 19/00
Ｃ１２Ｐ 21/08

【手続補正書】
【提出日】令和4年7月4日(2022.7.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列番号２９、３０、３１、３２、３３、３４、３８、３９、及び４０のいずれかの１つのアミノ酸配列を含む、キメラ抗原受容体。
【請求項２】
配列番号４０のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項３】
配列番号３９のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項４】
配列番号３８のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。

【請求項５】
配列番号３４のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項６】
配列番号３３のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項７】
配列番号３２のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項８】
配列番号３１のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項９】
配列番号３０のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項１０】
配列番号２９のアミノ酸配列を含む、請求項１に記載のキメラ抗原受容体。
【請求項１１】
キメラ抗原受容体を発現するＴ細胞の集団であって、前記キメラ抗原受容体は、配列番号２９、３０、３１、３２、３３、３４、３８、３９、及び４０のいずれかの１つのアミノ酸配列を含む、Ｔ細胞の集団。
【請求項１２】
Ｔ細胞の少なくとも２０％、３０％、４０％、５０％、６０％、７０％又は８０％がセントラルメモリーＴ細胞である、請求項１１に記載のＴ細胞の集団。
【請求項１３】
セントラルメモリーＴ細胞の少なくとも１０％は、ＣＤ４＋である、請求項１２に記載のＴ細胞の集団。
【請求項１４】
セントラルメモリーＴ細胞の少なくとも１０％は、ＣＤ８＋である、請求項１２に記載のＴ細胞の集団。
【請求項１５】
セントラルメモリーＴ細胞の少なくとも２０％は、ＣＤ４＋である、請求項１２に記載のＴ細胞の集団。
【請求項１６】
セントラルメモリーＴ細胞の少なくとも２０％は、ＣＤ８＋である、請求項１２に記載のＴ細胞の集団。
【請求項１７】
セントラルメモリーＴ細胞の少なくとも１０％はＣＤ４＋であり、少なくとも１０％はＣＤ８＋である、請求項１２に記載のＴ細胞の集団。
【請求項１８】
がんを治療するための、請求項１１～１７のいずれか１項に記載のＴ細胞の集団を含む、医薬組成物。
【請求項１９】
Ｔ細胞がヒトＴ細胞であり、前記ヒトＴ細胞の集団が自己由来である、請求項１８に記載の医薬組成物。
【請求項２０】
Ｔ細胞がヒトＴ細胞であり、前記ヒトＴ細胞の集団が同種異系である、請求項１８に記載の医薬組成物。
【請求項２１】
がんが多発性骨髄腫である、請求項１８～２０のいずれか一項に記載の医薬組成物。